

## 成人部・研修部合同

## もし活運動 展開中

皆さんは『終活』はご存知の方が多いかもかもしれません。  
では『もし活』って何だとお思いでしょうか。  
この『もし活』は、世間一般に広まっている言葉ではありません。  
『終活』というと、「私はまだ若いから」「元気だから」まだまだ先の話よと思いがち  
ですよ。

でも、2年半前に、私たちは熊本地震を経験しました。また今年は、西日本の豪雨  
や北海道地震などが起こり、いつ何があってもおかしくない世の中です。  
いくら元気でも明日交通事故に合うかもしれません。

障がいのある我が子は、支えてくださる方がいないと一人で生きていくのが難しい。  
だから、今のうちに何か準備をしなければ・・・とわかってはいるけれど・・・



そこで、我が子が、安心して暮らせるように準備しておく  
「もしもの時に備える活動＝もし活」が重要になってきます。

熊本市手をつなぐ育成会では、昨年度から終活カウンセラーの資格を持つ、  
豊里 幸(とよざと ゆき)さんを講師に、「もし活」講演会や、ワークショップを開催  
しています。

今、展開しているのは、2週間に一回ペースの「もし活ワークショップ」です。  
(6回シリーズ)

- ①人生の振りかえり ②財産について ③身体について ④お墓・供養について
- ⑤遺影写真を撮ってみましょう ⑥ノートを仕上げ座談会

12人の参加者が、豊里さんからアドバイスを受けながら、わきあいあい「もし  
活(終活)ノート」に書き込んでいます。



こうして、話しながら終活ノートを書いていると…こんな声が聞こえてきます。



では、今、どうすればいいのでしょうか?

まず、今やれること、例えば…

○通帳が何冊もあって、月々の支払いは〇〇銀行から、年金の受け取りは△△銀行から…という方も多いと思います。まとめられる通帳は1つにまとめて、眠っている通帳は出金して処分しておきましょう。(2019年から、眠っている預貯金=休眠口座は、国に没収される場合があります)

○「我が家にある通帳、父名義は〇〇銀行△△支店、母名義は××銀行☆☆支店に」などと書き留めておく(金額は記載しなくていい)、金庫のかぎのある場所は、兄弟児にあらかじめ伝えておきましょう。

○障がいのある本人は、どこの施設に通っていて、どんな病院にかかっているとか、定期服薬している薬の種類、量を記録しておきましょう。

ワークショップではこのように「今やっておくべき課題」もアドバイスいただいています。

何より、一人ではなかなかやらない『もし活』をグループで、ワイワイ、時には愚痴を言いあいながらやるのがとても楽しい。と参加した方々はおっしゃっています。

お子さんが通っていらっしゃる施設や、学校の保護者会などで、「もし活」ワークショップをなさってみてはいかがでしょうか?

お問い合わせは、育成会事務局へどうぞ 352-0010